2012 年 10 月 3 日

報道関係各位

うめきた先行開発区域プロジェクト 開発事業者 12 社

ＮＴＴ都市開発株式会社	株式会社大林組
オリックス不動産株式会社	関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社	積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店	東京建物株式会社
日本土地建物株式会社	阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱地所株式会社

一般社団法人グランフロント大阪 TMO

一般社団法人ナレッジキャピタル　　株式会社 KMO

うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」

「多様な人々や感動との出会いが新しいアイディアを育むまち」実現にむけた取組み概要発表

■「アジア・世界のゲートウェイ」の玄関口に「パナソニックセンター大阪」が進出

■都会の喧騒を忘れて「お散歩」を楽しめる商業施設が誕生

■「ナレッジキャピタル」フューチャーライフショールームに参画する 21 の全テナント決定

■まちと来街者をつなぐ「コミュニケーション・プラットフォーム」の整備

大阪・うめきたにおいて現在工事中の、うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」を推進する開発事業者 12 社、並びに竣工後のまちの一体的な運営を担う一般社団法人グランフロント大阪 TMO（以下「TMO」）、及びまちの中核施設「ナレッジキャピタル」の企画運営を担う一般社団法人ナレッジキャピタルおよび株式会社 KMO は、2013 年 4 月下旬の「まちびらき」を半年後に控え、まちの開発ビジョンである「多様な人々や感動との出会いが新しいアイディアを育むまち」の実現に向けた取組み概要を、下記の通り発表いたします。

「グランフロント大阪」という名称には、大阪の新しい玄関口に相応しい「世界に開かれた最前線のまちであり続けたい」という思いがこめられています。大阪・関西からアジア・世界へのゲートウェイとして、多様な人々の集積や交流、感動との出会いを通じて、このまちで生み出される新しいアイディアや多様なイノベーションにより、大阪・関西、さらには日本の成長・発展をめざします。

記

■「アジア・世界のゲートウェイ」の玄関口に「パナソニックセンター大阪」が進出

「アジア・世界のゲートウェイ」を標榜する「グランフロント大阪」の玄関口となる A ブロック地下 1 階から 2 階の 3 フロアに、パナソニック株式会社が運営するショウルーム「パナソニックセンター大阪」の進出が決定しました。

「パナソニックセンター大阪」は、最新商品の展示にとどまらず、セミナー・ワークショップの開催、住まいのトータルソリューション提案等を通じ、新しいライフスタイルが見つ

かる体験・参加型ショウルームとなる予定です。

■都会の喧騒を忘れて「お散歩」を楽しめる商業施設が誕生

A・B ブロック低層部の商業施設『グランフロント大阪　ショップ＆レストラン』のキーコンセプトは「お散歩」。大阪・梅田という大都会にありながら、豊かな水と緑に囲まれた環境で、お散歩をしながらゆったりとお買い物やお食事を楽しんでいただける施設が誕生します。

また、都心部のターミナル立地としては日本最大級という規模（店舗面積：約 44,000 ㎡）を活かし、関西旗艦店とこだわりショップの集積した物販ゾーンや、本物の「味」が楽しめる飲食・食物販ゾーンなど、バラエティー豊かな 266 店舗の入居を予定しています。

■一歩先の未来を提案する企業と生活者のコミュニケーションの場「フューチャーライフショールーム」に参画する 21 の全テナント決定

感性と技術の融合により新たな価値を創出する複合施設「ナレッジキャピタル」の 1 階から 6 階に位置する「フューチャーライフショールーム」には、21 の企業や大学が参画します。買うだけの店舗、見るだけのショールームではなく、生活提案や発見、学びなどワクワクさせる体験を提供し、来街者が参加できるさまざまなワークショップやイベント、セミナーなどたくさんのアクティビティを年間を通じて展開します。

「人」のかたちをモチーフとしたナレッジキャピタルのロゴマークも新たに決定しました。ナレッジキャピタルでは、場［施設］と機能［人的支援］を活用させ、産業創出、文化発信、国際交流、人材育成を実現していきます。

■まちと来街者をつなぐ「コミュニケーション・プラットフォーム」の整備

まちの運営組織 TMO が、まちと来街者とをつなぐ幅広い「コミュニケーション・プラットフォーム」を整備し、商業施設やフューチャーライフショールーム等、まちに訪れる来街者や在勤者、在住者とともにまちを育てる、新しいまちづくりに取り組んでいきます。

まちのファンを広く募る入り口として、匿名でファン登録を行う「(仮称)まちサービス」を創設します。その中から、新たな才能の発掘を通じて、このまちから新しい文化・芸術を発信する枠組みとして「(仮称)キャスト制度」を設け、ＴＭＯが認定した団体や人々に対してまちの公開スペースを利用する権利を付与する等、このまちを舞台に、それぞれの夢をかなえる活動を支援することにより、新たな賑わいを創出していきます。

また、「グランフロント大阪」を一つのメディアとして捉え、まちの公開スペースをさまざまな企業や来街者の新たな“情報発信の場”として活用していただくことにより、大阪の新たな玄関口に相応しい、魅力あふれるまちを目指していきます。

以　上

（添付資料）

別紙①：「グランフロント大阪へのパナソニックセンター進出について」（開発事業者 12 社）

別紙②：「都会の喧騒を忘れて「お散歩」を楽しめる商業施設『グランフロント大阪　ショップ＆レストラン』がオープン」（開発事業者 12 社）

別紙③：「フューチャーライフショールームに参画する 21 の全テナント決定」
（一般社団法人ナレッジキャピタル　　株式会社 KMO）

別紙④：「まちと来街者をつなぐ「コミュニケーション・プラットフォーム」の整備」
（一般社団法人グランフロント大阪 TMO）

（ご参考）

【うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」について】

梅田貨物駅を中心とする約 24ha の「うめきた」（都市再生緊急整備地域内）において、2005 年 6 月に先行開発区域（約 7ha）として UR 都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者である UR 都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。2006 年 5 月、11 月に開発事業予定者が決定され、2007 年 6 月に土地の引き渡しが完了。2008 年 2 月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010 年 3 月に新築工事着工し、2013 年 3 月末竣工、同 4 月下旬に開業予定。オフィス、商業、ホテル・サービスレジデンス、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。

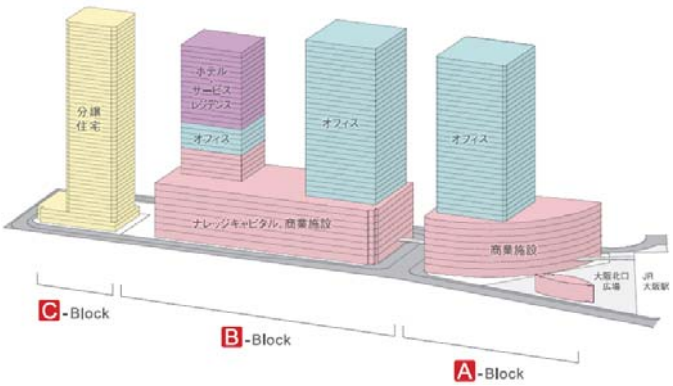
（全景パース）



（位置図）



（用途構成図）



別紙①

2012年10月3日

報道関係各位

うめきた先行開発区域プロジェクト 開発事業者12社

ＮＴＴ都市開発株式会社　株式会社大林組
オリックス不動産株式会社　関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社　積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店　東京建物株式会社
日本土地建物株式会社　阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社　三菱地所株式会社

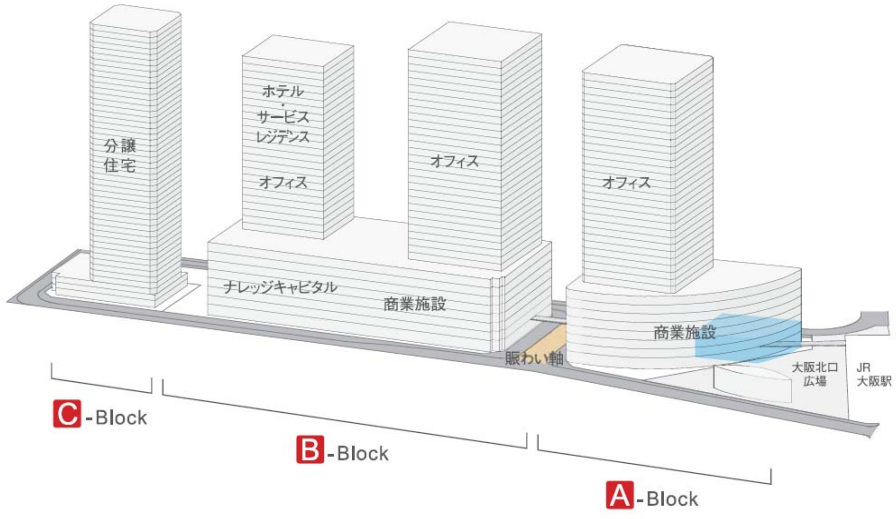
うめきた・グランフロント大阪へ
「パナソニックセンター大阪」の進出が決定しました

うめきた先行開発区域プロジェクト 開発事業者１２社が開発中の「グランフロント大阪」（2013年4月下旬 まちびらき予定）におきまして、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、社長：津賀一宏）運営のショウルーム「パナソニックセンター大阪」が進出することが決定しましたので、お知らせ致します。

グランフロント大阪では、「アジア・世界のゲートウェイ」を目指してまちづくりを進めてまいりましたが、その玄関口となる場所で、パナソニックブランドのグローバル情報受発信拠点となるコーポレートショウルーム「パナソニックセンター大阪」が展開されます。

「パナソニックセンター大阪」は、最新商品の展示にとどまらず、セミナー・ワークショップの開催、住まいのトータルソリューション提案等を通じ、新しいライフスタイルが見つかる体験・参加型ショウルームとなる予定です。

■「パナソニックセンター大阪」出店概要
- 出店場所：Ａブロック　地下１階・１階・２階
- 出店規模：約5,000㎡
- 開業時期：2013年4月下旬（まちびらきと同日の予定）



以　上

パナソニック株式会社
〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地

2012 年 10 月 3 日

“明日のくらしのヒントが見つかる” お客様との共創型ショウルーム

大阪・うめきたに「パナソニックセンター大阪」を開設

パナソニック株式会社は、大阪・京橋で展開している 2 つのショウルーム、「パナソニックセンター大阪」 と 「パナソニックリビングショウルーム大阪」 を統合し、来春開業予定の大阪・うめきたに、新しいコンセプトのグローバル情報受発信拠点、「パナソニックセンター大阪」を開設します。

新しいパナソニックセンター大阪は、明日のライフスタイルをテーマに最新のスマート家電や住空間を総合的に体験でき、新たなくらし価値をお客様と共に考え、共に創る「共創」をコンセプトに展開します。また、リアルスペースとオンラインの融合による、最新のコミュニケーションスタイルを取り入れた、お客様参加型のショウルームとなります。

「住・美・食・楽」をテーマに構成された各フロアでは、最新商品の体験や、“明日のくらしのヒントが見つかる” セミナー、ライフスタイルプロデューサー・フードスタイリスト・デザイナーなどによるワークショップを開催します。また、パナソニックが目指すエコでスマートなくらしを具体的な製品やサービスでお見せし、多様なお客様からご意見、ご要望をいただくなど、お客様との様々なコミュニケーションの機会を設けます。さらに、最新の住宅設備機器をご覧いただき、パナソニックならではのトータルソリューションで、自分らしい暮らし方をご提案します。

パナソニックセンター大阪は 1 日約 250 万人の乗降客数を誇る西日本最大のターミナルに直結した「うめきた・グランフロント大阪」への進出によって、世界の人々をお迎えする新名所として関西の発展に貢献するとともに、高感度なお客様やアジアを中心としたお客様など、新たな顧客層とのつながりをより深めてまいります。パナソニックが掲げる創業 100 周年ビジョンの「環境革新企業」の実現に向け、パナソニックブランドをよりグローバルに、より身近に感じていただくとともに、お客様の声を生かし、お客様と共に進化し続けてまいります。

■施設の概要

施設名称	パナソニックセンター大阪
所在地	大阪府大阪市北区大深町
開業予定	2013 年 4 月末
展示規模	地下 1 階、1 階、2 階 ： 約 5,000 平方メートル（約 1,515 坪）

■施設イメージ



「住・美・食・楽」をテーマにしたトークショーやワークショップを開催



街やくらしのトータルソリューションを提案

※大阪・京橋のショウルーム閉館予定

パナソニックセンター大阪　　：2012年12月末　http://panasonic.co.jp/center/osaka/

パナソニックリビングショウルーム大阪　：2013年　4月中　http://panasonic.co.jp/showroom/osaka/

【お問い合わせ先】

報道関係者：パナソニック株式会社　広報グループ　（大阪）　06-6908-0447

（東京）　03-3574-5661

一般のお客様：パナソニックセンター大阪　06-6949-2111

パナソニック　リビング　ショウルーム大阪　06-6943-9575

以　上

別紙②

2012年10月3日

報道関係各位

うめきた先行開発区域プロジェクト 開発事業者12社

ＮＴＴ都市開発株式会社	株式会社大林組
オリックス不動産株式会社	関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社	積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店	東京建物株式会社
日本土地建物株式会社	阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱地所株式会社

2013年4月下旬、うめきた・グランフロント大阪に
都会の喧騒を忘れて「お散歩」を楽しめる商業施設

『グランフロント大阪　ショップ＆レストラン』がオープン

～都心部のターミナル立地では日本最大級、266の店舗が集結～

うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」の商業施設につきましては、名称が、『グランフロント大阪　ショップ＆レストラン』に決定し、２０１３年４月下旬にオープンすることが決定いたしました。

施設の詳細については次のとおりです。

１．名　称

グランフロント大阪　ショップ＆レストラン

２．キーコンセプトは「お散歩」

西日本最大の商業エリアである大阪・梅田には、多くの商業施設が集積しておりますが、便利で効率的なビルの中や地下街を中心に展開されているため、ゆっくりと時間をかけてお買い物やお食事を楽しみたいというお客さまには、少しもの足りない空間となっておりました。

そこで『グランフロント大阪　ショップ＆レストラン』では、従来の商業施設とは一線を画し、大阪・梅田という大都会、しかも大阪駅から連絡デッキで直結という好立地にありながら、都会の喧騒を忘れ、四季を感じながらゆっくりと「お散歩」を楽しめるような空間を創り上げました。

具体的には、施設内に、水景と豊かな緑に囲まれた屋外回廊や、屋上緑地を含めて全体で１０，０００㎡を超える広大な庭園、心地よい太陽光が差し込む吹き抜けを設けました。加えて、街の東西を貫くメイン動線であるケヤキ並木のストリート「賑わい軸」の屋外空間や施設内各所には、いつでも足を止めて、のんびりとくつろぎたくなるような合計１５店ものカフェを配置。また、カフェ店舗のなかには、２１時以降も営業する店舗も多く、昼だけでなく、夜もゆったりと「お散歩」が楽しめる空間を演出しています。



大阪北口広場



「賑わい軸」



屋上庭園



屋外回廊

３．「グランフロント大阪　ショップ＆レストラン」の特徴

店舗面積・約４４，０００㎡を誇る「グランフロント大阪　ショップ＆レストラン」は、都心部のターミナル立地としては、日本最大級の商業施設です。西日本随一のスケールの大きさと立地の良さを最大限に発揮し、大阪・梅田に新しい人の流れと賑わいを生み出します。

■「ここだけ」に出会っていただくために　～旗艦店とこだわりショップの集積～

「グランフロント大阪 ショップ＆レストラン」の店舗の特徴は、「ここだけ」と「本物」に出会えること。人気のショップは「関西旗艦店」として店舗を構え、ここにしかない品揃えで、ブランド・ショップの世界観を表現します。また、「関西発（関西発祥／オリジン）」「大阪初」はもちろん、「本物を届け続ける老舗」や「知る人ぞ知る名店」、「新進気鋭の個性派ショップ」など、こだわりの店舗が多数出店する予定です。さらに、「ここだけ」・「本物」なのはお店のスタイルや商品だけではありません。ホスピタリティあふれるスタッフが「お客様とモノとの出会い」や「新しい発見」を紡ぎ、心地よい時間とお客様それぞれの新たなスタイルを提案します。

■　本物の「味」を楽しんでいただくために　～老舗から日本初上陸まで～

７７店舗もの飲食・食物販店舗が集積することも、本施設の大きな特徴です。「Ａブロック上層階のレストランゾーン」には、全国各地の名店やレストランガイドに掲載されるグルメ店はもちろん、大阪地場の行列店も多数出店するなど、舌の肥えたお客様から老若男女さまざまなお客様まで楽しんでいただける３６店舗のレストランが集積。「大阪北口広場地下の食物販ゾーン」には、日本初上陸から有名老舗まで１７店舗の食物販が出店。テイクアウトはもちろん、併設のイートインコーナーでは水景を楽しみながらお食事を楽しむこともできます。また、Ｂブロック上層階には、「梅田の新しい遊び場」をテーマにしたレストランゾーンも登場するなど、いままでになかった新たな大阪の食文化の創出を目指します。

■ ターゲットは「ライフスタイル編集の達人」

ターゲットは「自らの感性や価値観で、自分らしいライフスタイルを編集し、日々を大切に過ごす人」。「年齢層」や「価格帯」にとらわれず、施設や店舗が提供する「感性価値」や「こだわり」に共感していただけるお客様をターゲットとしています。また、女性だけでなく、男性にも十分ご満足いただけるよう、ファッション店舗においてメンズ商品を取扱う店舗は、約４０％を超える予定です。さらに出店業種の多様性も大きな特徴です。ファッション店舗：約４０％、生活雑貨・インテリア店舗：約３０％、飲食・食物販・サービス店舗：約３０％の割合で店舗が構成され、お客様の「衣」「食」「住」「遊」それぞれの生活シーンにお応えします。

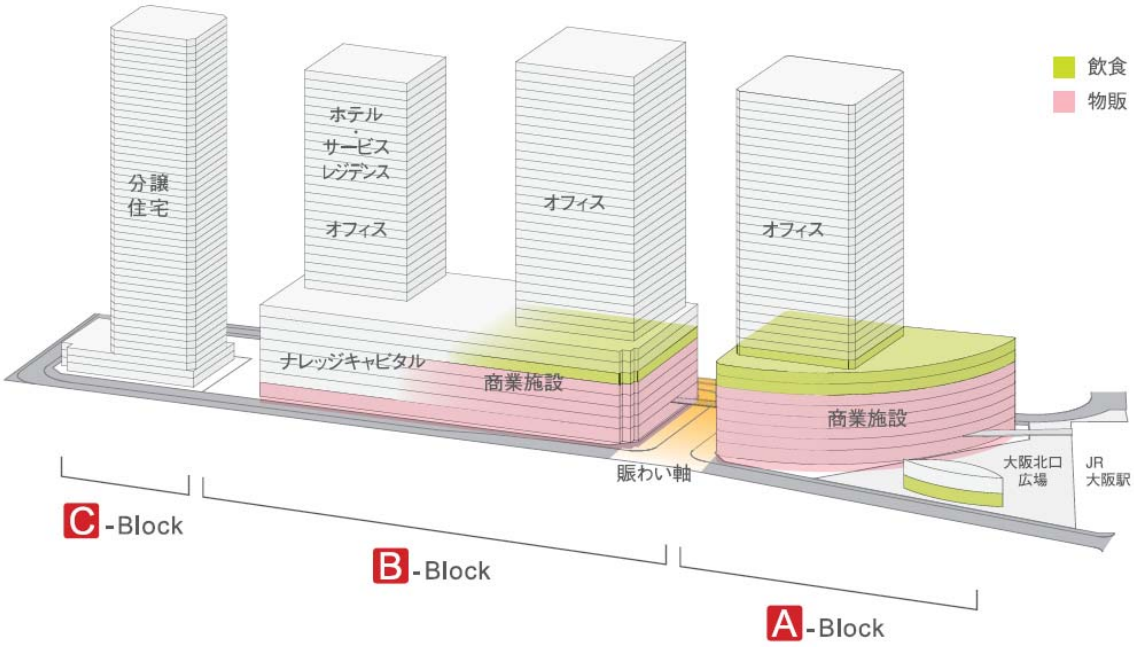
※業種のパーセンテージは店舗面積の割合を示しています。

４．施設概要

■店舗面積：約 44,000 ㎡（Ａブロック・大阪北口広場：30,000 ㎡，Ｂブロック：14,000 ㎡）

■店舗数　：２６６店舗（Ａブロック・大阪北口広場：208 店舗，Ｂブロック：58 店舗）

■構成　　：Ａブロック（地下１階～９階）、Ｂブロック（地下１階～６階）



５．今後のスケジュール（予定）

2013 年１月：全テナント名発表など

別紙③

PRESS RELEASE

KNOWLEDGE CAPITAL

2012 年 10 月 3 日

報道関係各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」
フューチャーライフショールームに参画する21の全テナント決定
～ナレッジキャピタルのロゴマーク決定～

2013 年 4 月下旬に開業予定のうめきた･グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」におきまして、フューチャーライフショールーム（以下、FLS）に参画する 21 の全てのテナントが別紙の通り決定いたしました。

FLS は、感性と技術の融合により新たな価値を創出する複合施設「ナレッジキャピタル」において、さまざまな業種の企業や大学等が一歩先の未来を提案し、生活者とコミュニケーションを行う空間です。21 の FLS 参画テナントは、ナレッジキャピタルの 1 階から 6 階に位置し、買うだけの店舗、見るだけのショールームではなく、生活提案や発見、学びなど、来街者をワクワクさせる体験を提供します。ナレッジキャピタルの特長である「参加性」を重視し、FLS 各テナントでは、来街者が参加できるさまざまなワークショップやイベント、セミナーなどたくさんのアクティビティが年間を通じて展開され、企業と生活者が双方向の関係性を育みながら新しい価値を共創します。

また、ナレッジキャピタルのロゴマークが決定しましたので、併せてご案内いたします。

KNOWLEDGE CAPITAL



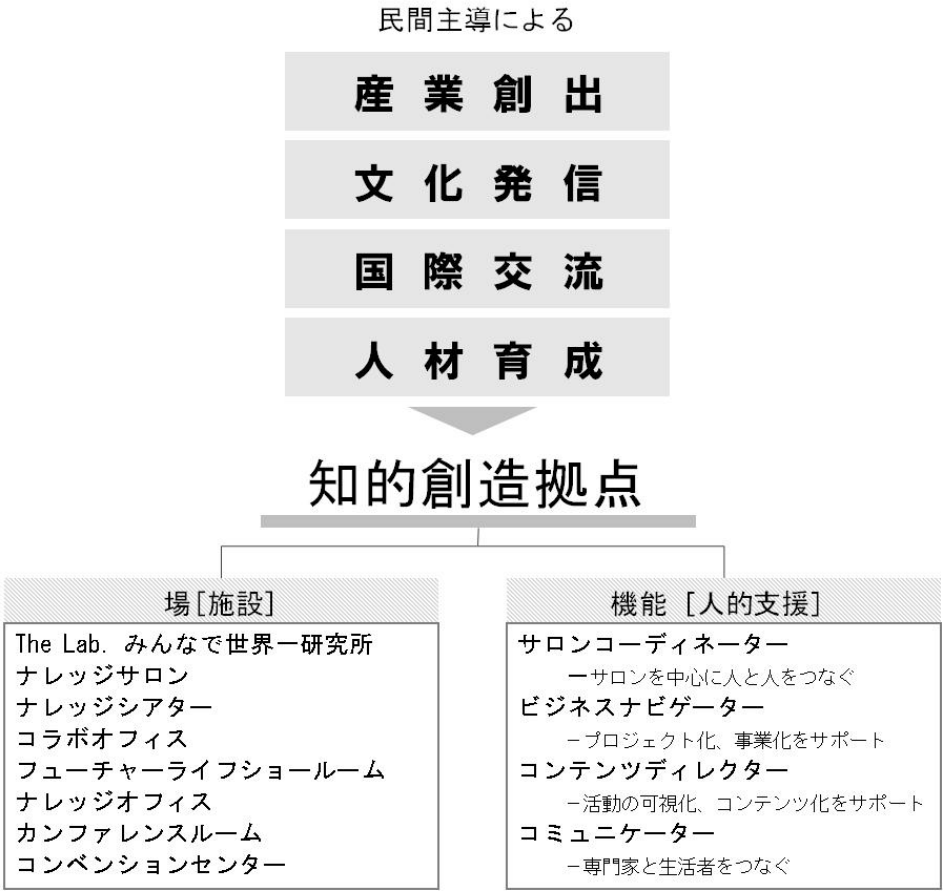
シンボルアイコンは
私（i）であり
人であり
イノベーションを表現しています。

ナレッジキャピタルの根源的な価値は人。
そして参加する私(i)が主役の舞台で
生み出されるイノベーション。

形の異なる（i）の集まりは多様性を、
それが連なる姿は活動のバイブレーションを
象徴するロゴマークです。

ナレッジキャピタルでは、場［施設］と機能［人的支援］を活用させ、産業創出、文化発信、国際交流、人材育成を実現していきます。今年 12 月 13 日には大阪市中央公会堂にてプレイベントとして「ナレッジキャピタル アジア学生デジタルコンテンツフェスタ（仮称）」を開催し、まちびらきに向けた発信を行ってまいります。なお、本イベントの詳細につきましては、11 月上旬（予定）に発表します。

以上



（ご参考）

【ナレッジキャピタルについて】

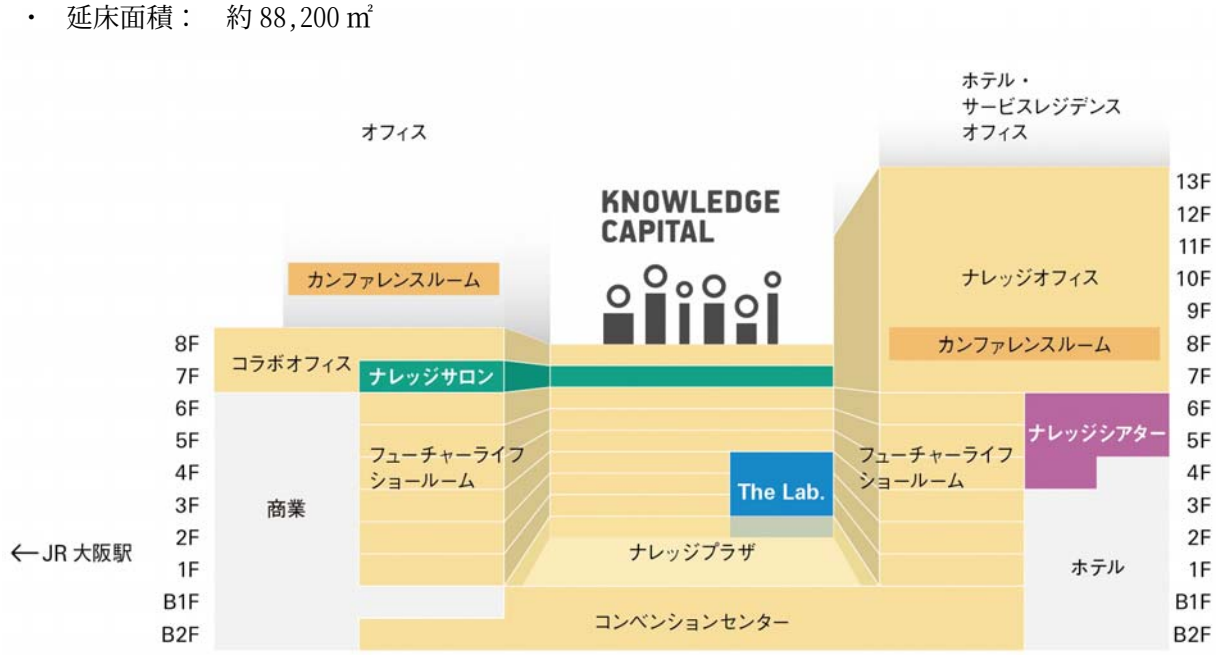
２００５年にナレッジキャピタル企画委員会より提言された「ナレッジキャピタル構想」に基づき、ＵＲ都市機構ならびに大阪市により開発事業者募集コンペを実施。現開発事業者が選定され、事業推進を行う。

ナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々の交わりから、今までにない商品やサービスを生み出すことをめざす。一般社団法人ナレッジキャピタルならびに株式会社ＫＭＯがナレッジキャピタルの企画運営を担い、場［施設］と機能［人的支援］を活用させ、ナレッジキャピタルにおける産業創出、文化発信、国際交流、人材育成の実現を行う。

【ナレッジキャピタル施設概要】

・ 所在地：　大阪市北区大深町ほか
うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」B ブロック
地下２階～地上８階（B 南棟）／～地上１３階（B 北棟）部分

・ 延床面積：　約 88,200 ㎡




コラボオフィス


ナレッジサロン


ナレッジシアター


フューチャーライフショールーム



The Lab.みんなで世界一研究所


コンベンションセンター

別紙

フューチャーライフショールーム参画テナント一覧

（50 音順）

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社（ドコモショップ）
株式会社アシックス
株式会社Ｕｒｇｅ
エー・ビー・シー開発株式会社（ハウジング・デザイン・センター大阪）
株式会社エム・フロンティア（AppBank Store）
学校法人大手前学園
関西電力グループ
近畿大学
ＫＤＤＩ株式会社
株式会社好日山荘
コカ・コーラウエスト株式会社
サントリー酒類株式会社
積水ハウス株式会社
ソフトバンクモバイル株式会社
ダイキン工業株式会社
日本サブウェイ株式会社
ピーロート・ジャパン株式会社
株式会社ボーネルンド
メルセデス･ベンツ日本株式会社
淀川キリスト教病院
ロート製薬株式会社

※一部のテナントの概要については、別添の参考資料をご参照ください。

参考資料

フューチャーライフショールーム参画テナント概要

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社

■出店内容

グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」に、NTTドコモの最新機種すべてを集め、最新機能、サービスが思う存分体験できるドコモショップを出店します。お客さま一人ひとりのライフスタイルに合ったご提案のできるスタッフも揃っておりますので、身近な情報発信基地として、ぜひお立ち寄りください。

■会社概要

社名：　アイ・ティー・シーネットワーク株式会社

所在地：　東京都渋谷区恵比寿 4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー26F

役員：　代表取締役社長　寺本　一三

設立：　1997 年 8 月

株式会社　アシックス

■出店内容

ランニングを中心とした総合スポーツ用品用具の販売と有料でランニング能力を科学的に分析する「ランニングラボ」を設置します。

■会社概要

社名：　株式会社アシックス

所在地：　兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目1番1

代表者：　代表取締役社長 CEO　尾山　基

創業：　1949年9月1日

事業内容：　各種スポーツ用品などの製造および販売

株式会社 Urge（アージ）

■出店内容

インターネットセキュリテイ市場 8 年連続シェアトップのエムオーテックス（株）の関連会社です。エムオーテックスは 1990 年に大阪で起業！新大阪に本社を置き、日本のインターネット・セキュリテイ・ソフトのメーカーとして世界に通用するインターネット技術で国内のインターネットの発展に大きく貢献しました。その技術力とノウハウを大阪の発展に貢献したいと Urge を設立して、大阪の文化・企業を広めるために大阪発信のイベントステージを成功させたいと考えています。

■会社概要

会社名：　株式会社 Urge

所在地：　大阪府高槻市高槻町 5 番 16-1401 号

代表者：　代表取締役　髙木哲男

事業内容：　大阪発信のイベント実施、カフェの運営、アロマ等女性向け小物の販売

エー・ビー・シー開発株式会社
（ハウジング・デザイン・センター大阪）

■出店内容

キッチンから広がるライフシーン”K D L テリア”をコンセプトに、一歩先の未来を見つめた住まい方を体験、発見できる施設です。キッチン併設のイベントスペース“C terrace（Cテラス）”から食生活を中心とした様々なイベントを開催し、女性にとって、家族にとって、楽しく、豊かで、健康的なライフスタイルを提案していきます。

■会社概要

社名：　エー・ビー・シー開発株式会社

本社所在地：　大阪府大阪市福島区福島 6-20-12

代表取締役社長：　米川　栄二

設立：　1972 年 5 月 15 日

主な事業内容：　住宅展示場の企画・運営、ハウジング・デザイン・センターの企画・運営、生命保険代理業、損害保険代理業、広告代理業、不動産事業

株式会社エム・フロンティア

■出店内容

iPhone/iPad/iPod に纏わる厳選されたアクセサリ専門店です。

「AppBank Store 梅田 」は関西地区 2 号店、関西エリアの旗艦店として 1500 種類以上のアクセサリーを取り揃え、オープン致します。『便利・親切・面白い・かわいい・カラフル』をコンセプトに、男女問わずお使い頂ける商品を皆様にご提案致します。

■会社概要

社名： 株式会社エム・フロンティア

所在地： 東京都渋谷区渋谷３－３－５ NBF 渋谷イーストⅢF

代表者： 代表取締役社長 金子 健一郎

設立： 2004 年 6 月 18 日

事業内容： スマートフォンアクセサリー販売、iPhone、Android アプリ制作
スマートフォン、携帯、PC サイト制作、スマートフォン、携帯、PC の EC サイト制作

学校法人 大手前学園

大手前大学 大手前短期大学 大手前栄養学院 大手前製菓学院

■出店内容

大学、短期大学、専門学校で『大手前スイーツプロジェクト』を展開する大手前学園が、スイーツの情報発信基地を設置します。エリア内には、高度な製菓技術を習得できる「スイーツテクニックラボ」、スイーツにまつわる最新の情報が収集できる「プロスイーツギャラリー」、そして教育機関ならではの学びの場「サテライトスタジオ」を配置。歴史、技術、化学、経営など、幅広い文化背景をもつ学問『スイーツ学』を通じて、ご来場の皆さまの知的欲求に応えます。

■法人概要

法人名： 学校法人 大手前学園
大手前大学 大手前短期大学 大手前栄養学院 大手前製菓学院

所在地： 大阪市中央区大手前 2-1-88

理事長・総長： 福井 有

設立： 1946 年

KDDI 株式会社

■出店内容

「3M 戦略（マルチネットワーク・マルチデバイス・マルチユース）」を

様々なサービスを通じてお客様にご提案させていただきます。

■会社概要

社名：　KDDI 株式会社

所在地：　東京都千代田区飯田橋 3 丁目 10 番 10 号　ガーデンエアタワー

代表取締役社長：　田中　孝司

設立：　1984 年 6 月 1 日

事業内容：　電気通信事業

株式会社好日山荘

■出店内容

健康志向が高まる今、登山・アウトドアアクティビティが注目されています。

「好日山荘」は皆様の楽しく安全な登山にお応えいたします。

■会社概要

社名：　株式会社好日山荘

本社所在地：　神戸市中央区浜辺通 2-1-30　三宮国際ビル 6F

代表取締役：　檜木　裕二

設立：　平成18年12月1日

事業内容：　登山用品、アウトドア用品の販売、クライミングジムの運営

サントリー酒類株式会社

■出店内容

ウイスキーづくりには、水と環境、熟練された職人の技に加え、長い熟成の時間が必要です。
何年もかけてつくるお酒だからこそ、じっくりと味わって頂きたい。
そんなウイスキーならでは楽しみ方、ウイスキーを楽しむシーン、空間を体験できる
新たな施設を出店します。

■会社概要

社名：　サントリー酒類株式会社
所在地：　〒135-8631 東京都港区台場 2-3-3
代表者：　社長　相場　康則
事業内容：　国内・海外の酒類事業

ソフトバンクモバイル株式会社

■出店内容

新しい接客スタイルを導入し、お客さまにあった「ケータイ」「サービス」「コンテンツ」をじっくりご提案させていただきます。グランフロント大阪にお越しの際は、新しいかたちのソフトバンクショップに是非お立ち寄りください。

■会社概要

社名：　ソフトバンクモバイル株式会社
所在地：　東京都港区東新橋 1 丁目 19 番地 1 号
代表者：　代表取締役社長　兼　CEO　孫正義
サービス開始日：　1994 年 4 月 1 日
事業内容：　移動体通信サービスの提供
携帯端末の販売など、移動体通信サービスに関連する事業

ダイキン工業株式会社

■出店内容

空気との触れ合いと体感を通じて豊かで心地よい暮らしを提案、さらに、
最新空調機器とシステムで快適と省エネの両立を提案するソリューションプラザ
『フーハ大阪』を出店します。

■会社概要

社名：　ダイキン工業株式会社
本社所在地：　大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号　梅田センタービル
代表取締役：　取締役会長　兼　CEO　井上　礼之
　　取締役社長　兼　COO　十河　政則
設立：　1934 年 2 月 11 日
事業内容：　空調・冷凍機、化学、油機及び特機製品の製造（工事施工を含む）、販売

日本サブウェイ株式会社

■出店内容

植物工場併設型の店舗
サブウェイは植物工場を併設した近未来型の店舗を出店します。
また植物工場だけでなく、野菜の栽培方法で代表的な露地栽培（畑）と最新技術の栽培方法の植物工場が共存した空間で、近未来の農業をイメージ出来る場所として情報発信をしていきます。都会の真ん中で野菜や植物工場が身近に感じられる場所としてお気軽にお立ち寄りください。

■　会社概要

社名：　日本サブウェイ株式会社
代表者：　代表取締役社長　伊藤　彰
所在地：　東京都港区赤坂 3-8-8　赤坂フローラルプラザビル 4 階
設立：　1991 年 10 月
事業内容：　「サブウェイ」は 1965 年アメリカ、コネチカット州で 1 号店を開店しました。お客様のお好みに合わせてサンドイッチをお作りするというオーダーメイドスタイルが世界各国で支持されています。サントリーホールディングスが日本におけるマスターフランチャイズ権を取得し日本サブウェイ株式会社を設立。2012 年 9 月 30 日現在、全国に 388 店舗、世界では 100 ヶ国約 37,000 店舗を展開しております。

ピーロート・ジャパン株式会社

■出店内容

ワインメーカーならではの、生産者同志のネットワークを駆使し、
ナレッジキャピタルにおける「World Wine Bar by Pieroth」は、
どなたでも親しみやすい、ワインでつながる交流の場を提供していきます。

■会社概要

社名：　ピーロート・ジャパン株式会社（www.pieroth.jp）
所在地：　〒108-0075　東京都港区港南２丁目１３番３１号
電話番号：　(03)3458-4455　　FAX 番号：　(03)3458-4538
創業：　1969 年 4 月 1 日 創業
代表者：　代表取締役社長　Dr. ヨハネス・ピーロート
　　代表取締役営業部門担当　ローラン・フェーブル
　　代表取締役財務部門担当　ディルク・シュメル
事業内容：　ワイン及びスピリッツの輸入、販売

株式会社ボーネルンド

■出店内容

親子で遊ぶ室内あそび場かつ21世紀の新しい子育て支援施設である「キドキド」と、世界のあそび道具の店「ボーネルンドショップ」が合体した複合施設「ボーネルンドあそびのせかい」を出店し、“あそび”を通して子どもの健やかな成長を応援します。

■会社概要

社名：　株式会社ボーネルンド
所在地：　東京都渋谷区神宮前1−3−12
代表取締役：　中西弘子
設立：　1981年7月7日
事業内容：　屋内外のあそび環境づくり、教育玩具の輸入・開発・販売、親子の室内あそび場「キドキド」の企画開発・運営

ロート製薬株式会社

■出店内容

ロート製薬が、世界中の人々の未来の健康、美そして癒しのために、
”よろこビックリ”空間を提供し、驚喜（オドロキ）の環を
より多くの人にお届けするために出店します。

■会社概要

社名：　ロート製薬株式会社

創業：　1899 年（明治 32 年）2 月 22 日

資本金：　6,405 百万円

代表者：　代表取締役会長（CEO） 山田　邦雄
　　代表取締役社長（COO） 吉野　俊昭

事業内容：　医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売

別紙④

2012 年 10 月 3 日

報道関係各位

一般社団法人グランフロント大阪 TMO

うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」

「多様な人々や感動との出会いが新しいアイディアを育むまち」実現にむけた

まちと来街者をつなぐ「コミュニケーション・プラットフォーム」の整備

① まちのコミュニティ形成サービス　② イベントプロモーション事業　③ 街メディア事業

まちの一体的な運営組織として、本年 5 月に設立されました一般社団法人グランフロント大阪 TMO（以下「TMO」）は、従来の“開発者側が主体となってまちを管理し、賑わいをつくる”という運営から一歩進んで、これからの時代の新しいまちづくりを目指します。

まちの在住者・在勤者・一般来街者とともに、まちを育てていきたいという考えにたち、「多様な人々や感動との出会いが新しいアイディアを育むまち」をビジョンに掲げ、まちと来街者をつなぐ幅広い「コミュニケーション・プラットフォーム」を整備していきます。

具体的には、まちに整備するユビキタス環境を活用した、まちと来街者との交流を育む「コミュニティ形成サービス」への取組み、並びに、まち全体を一つのメディアとして捉え、様々な企業や来街者の新たな“情報発信の場”として活用していただくことにより、魅力あふれるまちを育む「イベントプロモーション事業」、及び「街メディア事業」に取り組んでまいります。取組み概要については、以下の通りです。

記

1．まちのコミュニティ形成サービスの取組み

「まちにいる人々同士の情報共有や新たな関係づくりを支援するユビキタスの導入」

- まちのファンを広く募る入り口として、匿名でファン登録を行う「(仮称)まちサービス」を創設します。
- このサービスに登録したファンの方々を対象に、まちにおける活動をユビキタス環境を通じて「ライフログ」を蓄積。その活動を街内に設置するデジタルサイネージに「見える化」し、その時々におけるまちの賑わいやまちの魅力を発信していくことにより、まちと来街者、来街者同士などの関係づくりを促進し、まちの新たな賑わい作りにつなげていきます。

「まちを舞台とした自己実現を支援する制度の導入」

- 「まちサービス」の登録者の中から、新たな才能の発掘を通じて、このまちから新しい文化・芸術を発信する枠組みとして「(仮称)キャスト制度」を設け、ＴＭＯが認定した団体や人々に対してこのまちの公開スペースを利用する権利を付与する等、このまちを舞台として夢を叶える活動を支援することにより、新たな賑わいを創出していきます。
- この制度を通じて、多彩な人々が集い、コミュニティを創出し、まちにいる人々とまちが共に成長することを目指します。

2. 新たな文化芸術発信拠点としてのイベントプロモーション事業の取組み

・広大な敷地面積を活かし、大阪駅前に立地する約 1ha に及ぶ「（仮称）大阪北口広場」や同広場に面した「(仮称)シンボル建物 2 階ホール」、まちの中心に位置する 7 層吹き抜け空間「（仮称）ナレッジプラザ」や低層基壇部屋上にある緑豊かな「（仮称）屋上庭園」など、多様なニーズに応えるイベントプロモーションスペースを整備します。

・これらのスペースを活用して、まちの風物詩となるお祭りやイベントを TMO が主体となり取組んでいくほか、外部利用を含め、日常的なイベントを定期的に実施していくことにより、日々足を運びたくなる、活気あふれるまちを育んでいきます。

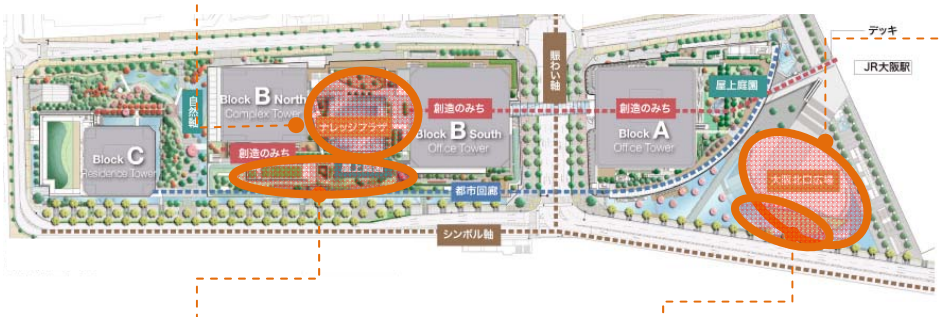
・また、企業や来街者など幅広い方々の「自己表現・発表の場」として活用していただくことにより、新たな才能を発掘し、このまちから新しい文化・芸術を発信していきます。



ナレッジプラザ



大阪北口広場



屋上庭園



シンボル建物



3. 新たな情報発信拠点としての街メディア事業の取組み

・継続的なタウンマネジメント活動推進のための枠組みとして、まちの活性化に資する事業の財源に充当することを目的に、まちの公開スペースを活用した「街メディア事業」に取組みます。

・具体的には、幅広いコミュニケーション展開を可能にするために、複数のバナーフラッグをはじめ、壁面広告や柱巻き広告、デジタルサイネージ広告など、まち全体を網羅するこ

とのできる約 20 種類の街メディアを整備する予定です。

- まちにメディアを取り込むにあたってはデザインに配慮し、水と緑があふれる自然豊かな環境と街メディアとの調和により、統一感のあるデザインと賑わいある街並みを形成し、時間を忘れてまち歩きを楽しめる空間を演出していきます。
- さまざまな企業や人々の新たな「情報発信の場」として活用していただくことにより、大阪の新たな玄関口に相応しい、魅力あふれるまちを目指していきます。



A ブロック南東角



賑わい軸



都市回廊

以　上